

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史特講

教 科： 地理歴史科 科 目： 日本史特講 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 3 学年 2 組～ 8 組
教科担当者： （2組：白柳） （3組：相澤） （4組：相澤） （8組：白柳） （ 組： ） （ 組： ）
使用教科書： （『日本史探究 詳説日本史 』（山川出版社））
教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】2学年で学習した事柄の知識をさらに深め、テーマ史別に整理する力をつける。
- 【思考力、判断力、表現力等】史料やグラフ等の史資料を読み取り、根拠を示して論理的な説明ができるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題と歴史との関係を考察することで歴史的思考力と資質を養う。

科目 日本史特講 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付ける。	歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明し、議論したりする力を養う。	歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文化史1 【知識及び技能】 中世における多様な文化の形成や融合について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の政治や経済の動向、各地の村落や都市の発達、東アジアとの交流との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 室町文化の特徴について、鎌倉時代や現代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	・公家や武家、庶民などの文化の形成や融合を踏まえて、日本の伝統文化の原型が形成された室町期の文化的な特色について考察する。 ・室町時代の時期ごとの芸術・宗教の特色や、それらが庶民や地方へ広がっていったことを考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	8
	文化史2 【知識及び技能】 桃山文化を受け継ぎながらも新しい武家社会の到来を示す寛永期の文化が成立したことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの国際情勢の変化に着目して、江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸幕府の鎖国政策について、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。	・桃山文化から寛永期の文化を、戦乱の世から幕藩体制成立までの時代背景を踏まえて理解する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	8
	文化史3 【知識及び技能】 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 近世前期における幕府の統治政策や	・経済発展と幕政の安定を背景に、上方の豪商を中心に町人文化が形成されたことを理解する。 ・儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	7
	文化史4 【知識及び技能】 近現代の文化 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・18～19世紀の文化について、学問・思想・教育・文学・美術の新たな展開に着目し、都市の民衆を中心とする芸能や生活文化の特色を理解するとともに、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	8
	文化史5 【知識及び技能】 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究の風潮、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 学問・芸術・出版・マス＝メディアの発展について諸資料から情報を読み取り、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近代の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、近代文化の特色を主体的に追究しようとしている。	・西洋文化の積極的な流入と、伝統的な文化が接触し近代文化が成立したことに着目し、欧米思想の影響や生活の変化について考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2 学 期	現代史 1 【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の変容にも留意しながら、占領前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を、根拠を明確にして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 連合国による日本占領機構の特色や	・連合軍の日本占領の目的が非軍事化と民主化であったことを踏まえ、目的に沿ってどのような政策が展開されたのかを理解し、諸政策がその後の日本社会にどのような影響をもたらしたのか、考察する。 ・国際情勢の変化と関連づけて、アメリカが日本の国際社会への復帰を推進し、日米安全保障条約による新たな日米関係が成立したことを考察する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	10
	現代史 2 【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯や、戦後の日本経済の成長や、高度成長期の国民生活や地域社会の変化について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 外交事案がもたらした課題や日本の経済復興や高度成長、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察し、高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返り、国内政治・経済の課題を主体的に見出そうとしている。	・冷戦構造のなかで日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。 ・1970年代の米中の国交正常化、ベトナム戦争の終結、第4次中東戦争による石油危機などの情勢の下、日本が外交的には中国との国交正常化を実現し、高度成長路線を修正しながら引き続き経済成長を維持しようとしたことについて考察する。 ・1980年代末以降、冷戦終結によって、東欧を中心に大きな変動がおこり、国際政治の枠組みが大きく変化したことを理解する。	【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 観察・グループワーク課題 【主体的に学習に取り組む態度】 観察・グループワーク課題	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期							
							合計 70